

あゐ

2003年春季号(通巻53号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp



カザフスタン

市田町 近藤 昭

カザフスタンは、旧ソ連邦の崩壊に伴い1991年に独立した中央アジアの新興国です。日本に比べ、面積は7倍、人口は7分の1で、カザフ人が45%、ロシア人が30%を占める多民族国家ですが、カザフ語とロシア語が公用語として使われ、宗教はイスラム教(スンニ派)といわれています。製鉄や冶金と農業以外には産業が無い国と言えるでしょう。私は、JICA関連の業務で、広大な国土に散在する10の主要都市を移動しながら視察しましたが、どの都市を訪れても、日本人よりも日本人に似た(外見も考え方もよく似ています)カザフ人が多く、異国、異文化の国に来たとは思えないのが不思議でした。

写真は、ペテロパブロスクで見かけた路上市場です。パザールに通じる道路は、ガラクタ市と言えるような路上店が500軒も続いていました。中古自動車部品(ボン



ネット、エンジン、中古タイヤ、窓ガラス、小は電線のコネクター数個)、古本、衣類、日常雑貨、中古電気品はもちろん、錆びて曲がった釘の束や錆びた針金までも路上に敷かれた毛布やダンボールの上に並べられて売られています。大きな店で畳1枚程度、小さい店では30度角位です。気温がマイナス20度ぐらいで小雪が舞うこともありますので、店員は毛皮の帽子と毛皮のコートで完全防寒をして朝から晩まで頑張っているのです。彼らの1日の売上げはどれくらいだったのでしょうか。